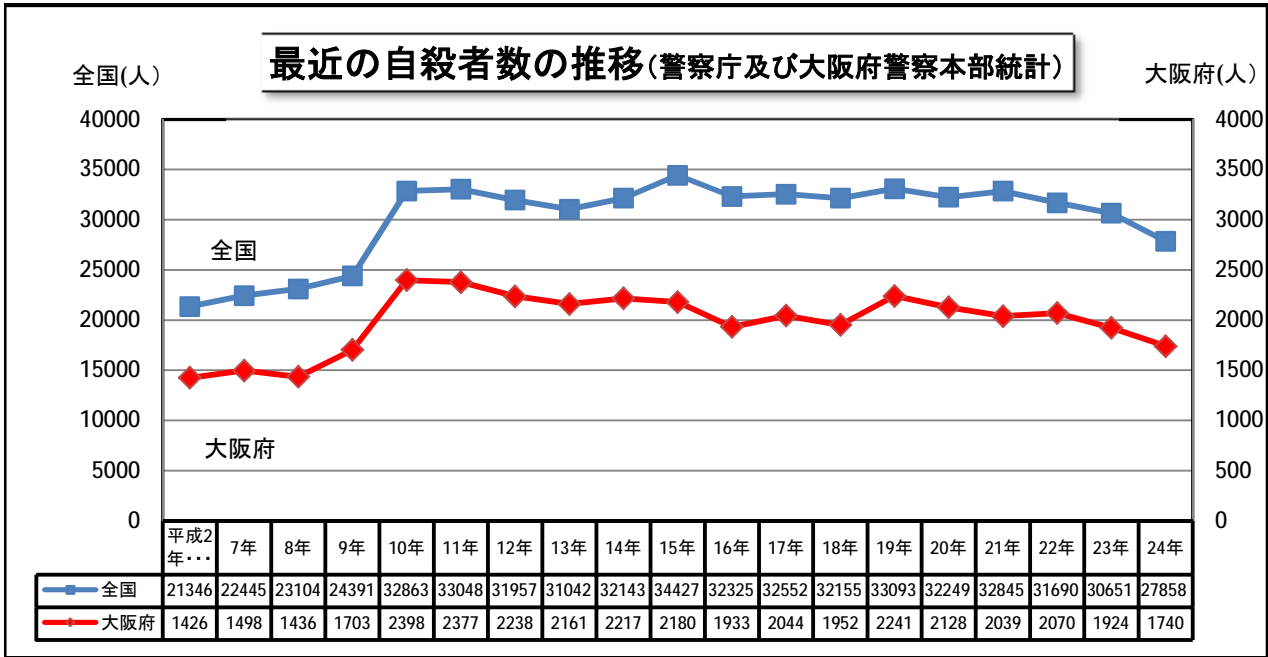
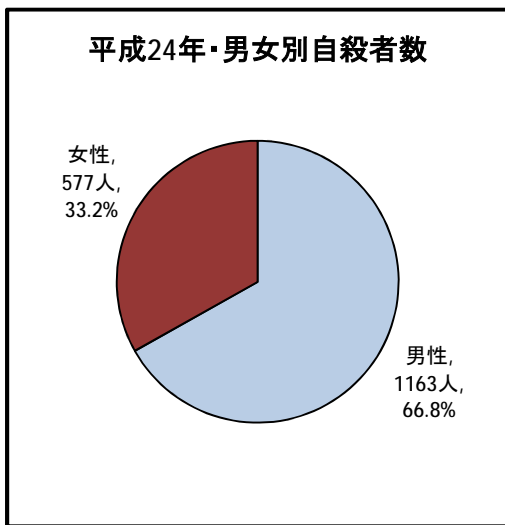


大阪府の自殺の概要<平成24年>

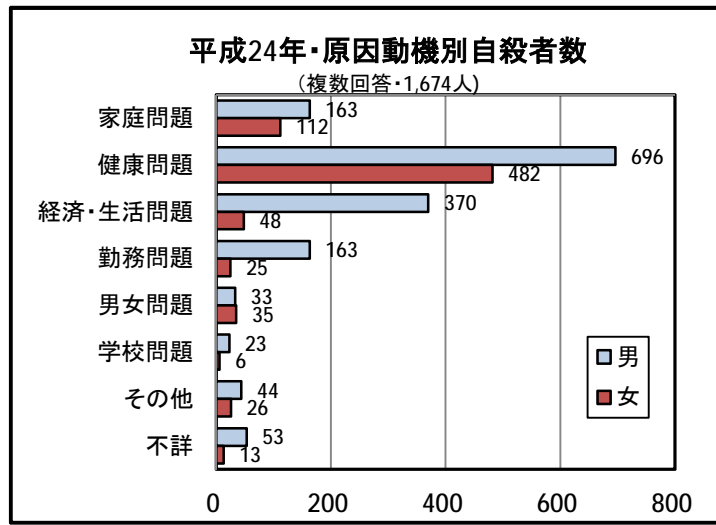
警察庁及び大阪府警本部統計



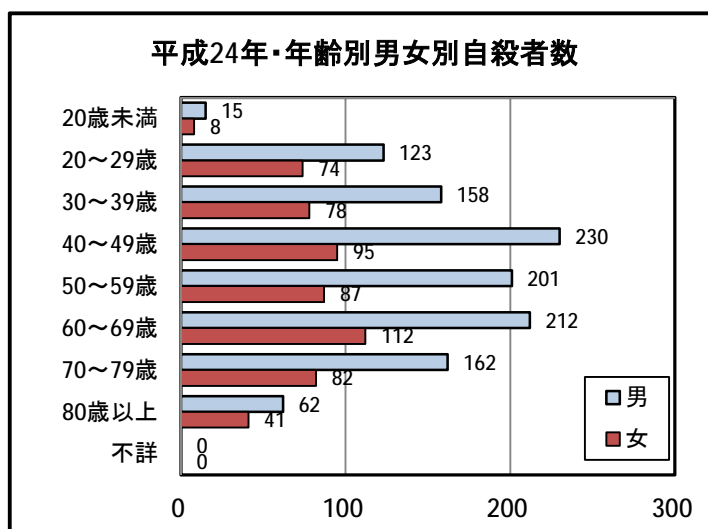
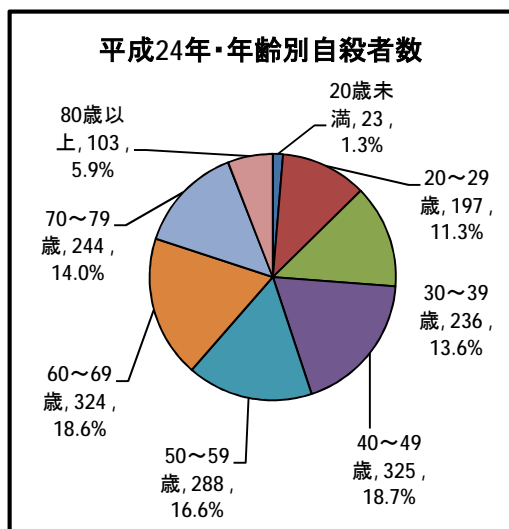
全国の平成24年中の自殺者数は27,858人となり、昨年に比べ減少し、自殺者数が3万人を切りました。大阪府の自殺者数も1,740人と、全国と同じく昨年に引き続き減少しています。



大阪府の平成24年中の男女別自殺者数は、男性が1,163人(66.8%)、女性が577人(33.2%)となっており、依然として男性の数が約2倍になっています。

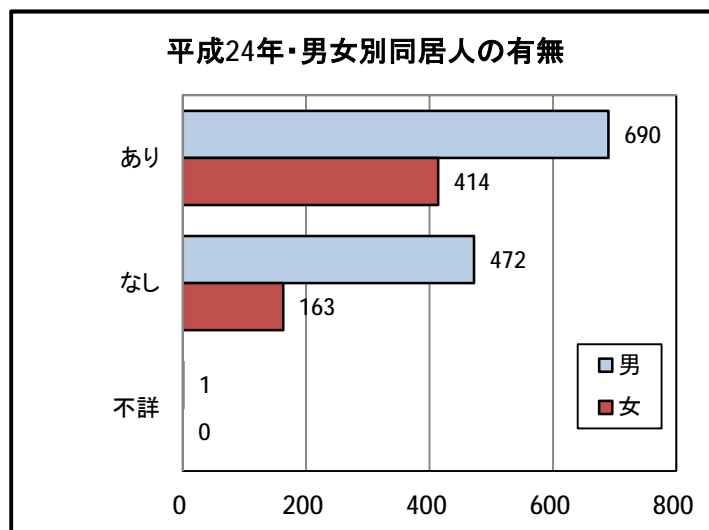
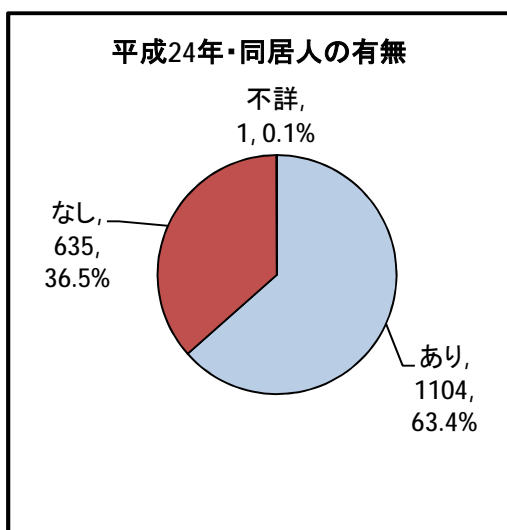


平成19年から原因・動機を3つまで計上することとしており単純に比較はできないが、昨年同様「家庭問題」「健康問題」「経済・生活問題」が男女共に半数以上を占めています。しかし「家庭問題」「経済・生活問題」については、昨年よりも総数に減少が見られます。「勤務問題」「学校問題」は引き続き増加が見られたが、「男女問題」は減少しています。



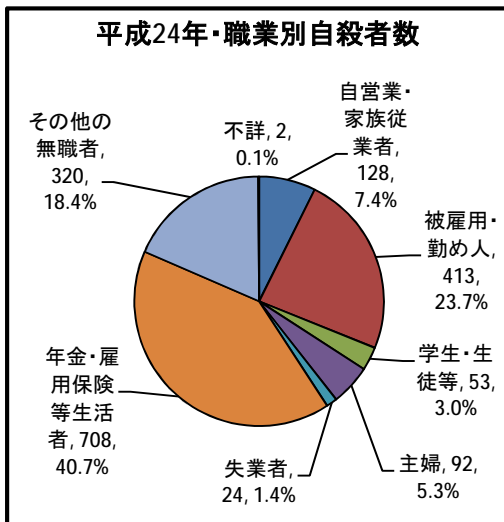
大阪府の平成24年中の年齢別自殺者数の割合は、40代が325人(18.7%)と最も高く、次いで60代が324人(18.6%)、50代が288人(16.6%)と続いており、中高年の割合が高くなっています。

男女・年齢別自殺者数を比較すると、女性は20歳代から70歳代にかけて自殺者数の数値が並んでおり、年代による差はあまり見られないが、男性は40歳代から60歳代が突出して多くなっています。

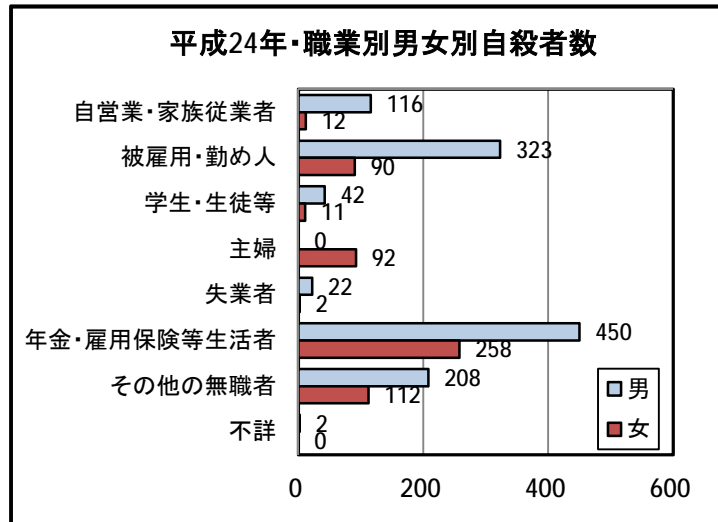


同居人の有無でみると、自殺者のうち、「同居人あり」が1,104人(63.4%)、「同居人なし」が635人(36.5%)と、「同居人あり」が半数を超えています。

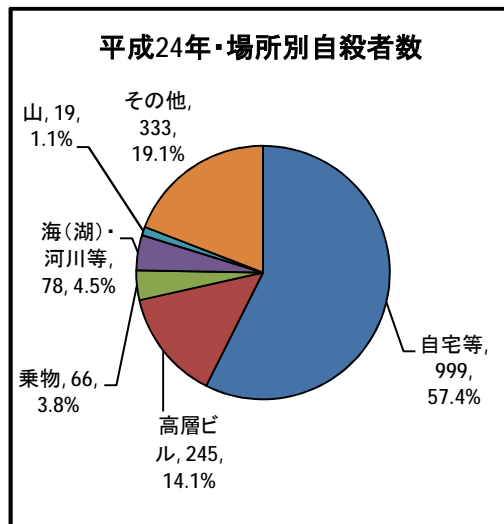
男女別同居人の有無に関しては、「同居人あり」が男性で690人(62.5%)、女性で414人(37.5%)。「同居人なし」が男性で472人(74.3%)、女性で163人(25.7%)でした。「同居人のなし」の自殺者は男性が圧倒的多数であることがうかがえます。



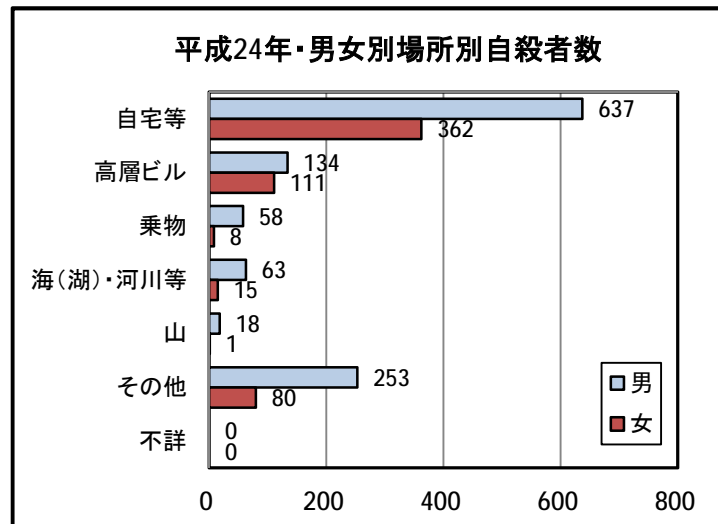
大阪府の平成24年中の職業別自殺者数の割合は、「年金・雇用保険等者」が多く、708人と全体の約40%を占めています。次いで「被雇用・勤め人」が413人(23.7%)、「その他の無職者」が320人(18.4%)となっています。



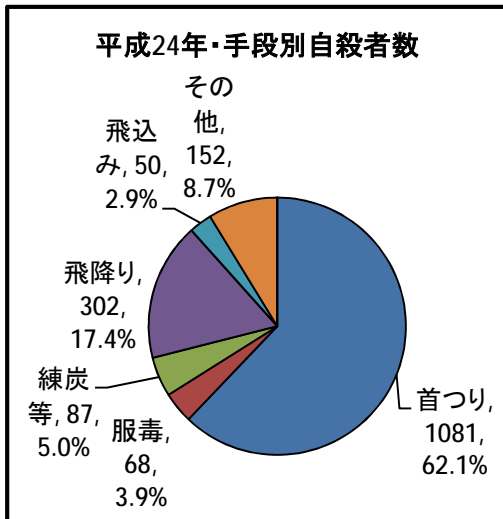
平成24年中の職業別自殺者数を男女別で見ると、「年金・雇用保険等者」が男女共に多くなっています。次いで男性は「被雇用・勤め人」、女性は「被雇用・勤め人」と「主婦」がほぼ同数となっています。



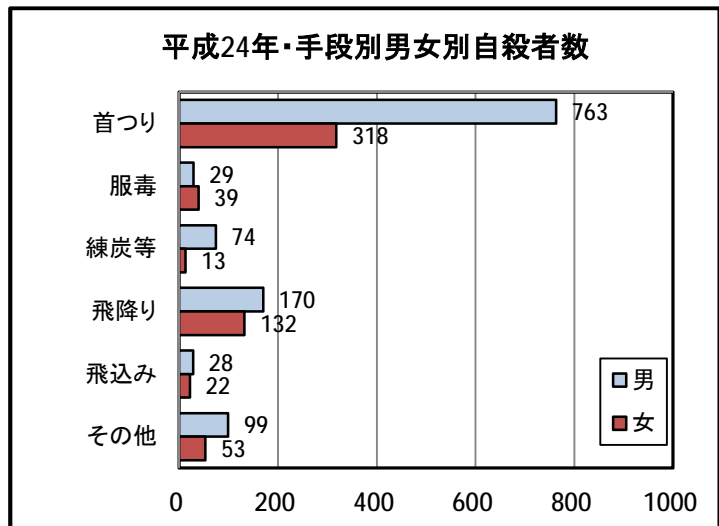
場所別自殺者数の割合は「自宅等」が999人(57.4%)と過半数を超えており、次いで「その他」333人(19.1%)、「高層ビル」245人(14.1%)となっています。



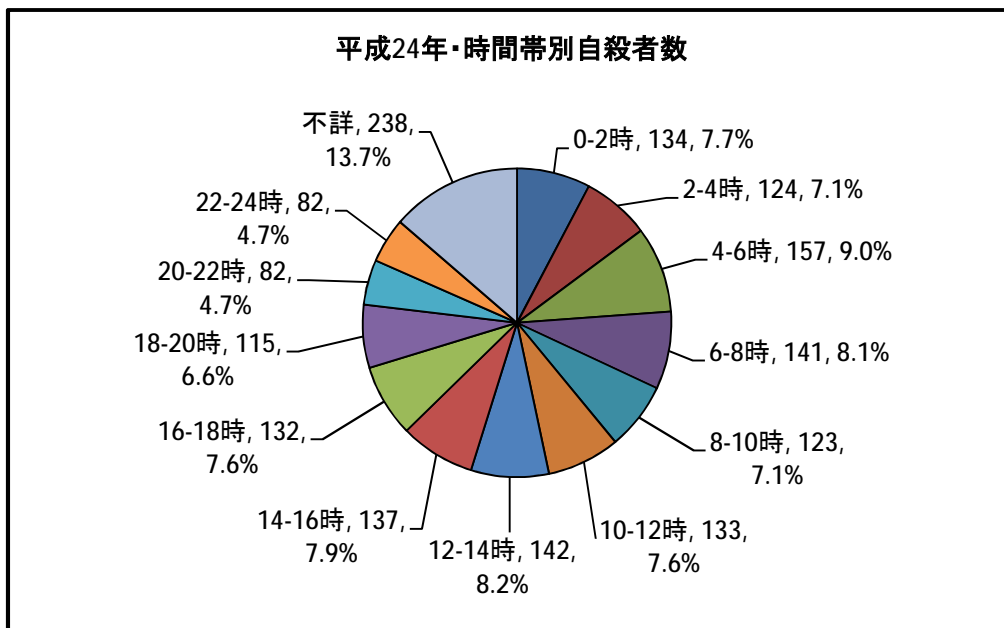
男女別で場所別自殺者数を見ると、「自宅等」が男性637人(54.7%)、女性362人(71.7%)と一番多く、「乗物」「海(湖)・河川等」「山」といった項目では女性より男性の占める割合が高くみられます。



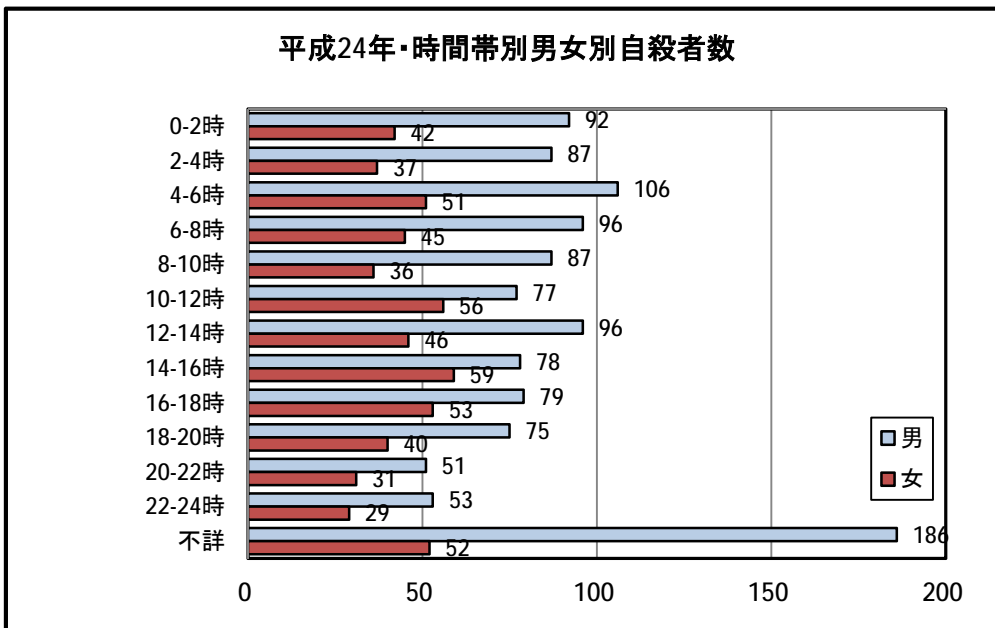
平成24年中の大阪府における手段別自殺者数では、「首つり」が1081人(62.1%)と、過半数を占めています。次いで「飛降り」が302人(17.4%)となっています。



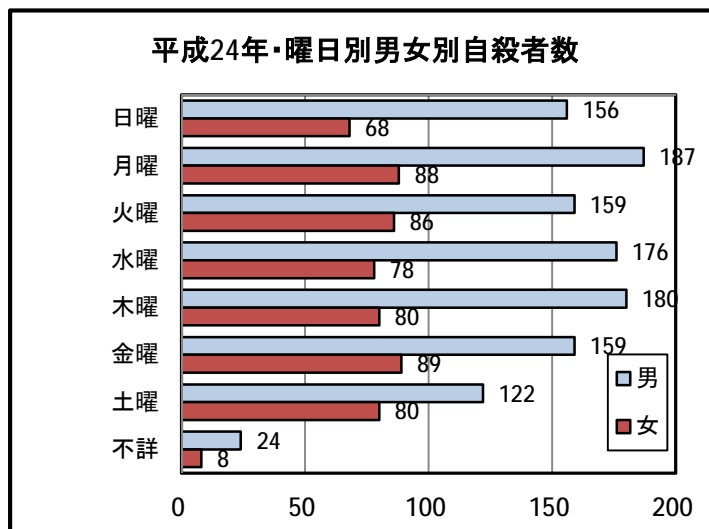
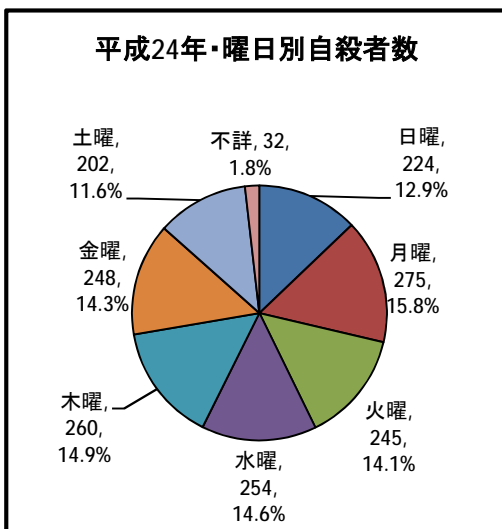
手段別男女別自殺者数を見ると、「首つり」が男女ともに多く占めており、次いで、「飛降り」も多くなっています。しかし、「服毒」では男性より女性の方が多く、「練炭等」では女性より男性の方が高い数値が出ています。



大阪府の平成24年中時間帯別自殺者数の割では、0時から20時までどの時間帯も8%前後を占めており、大差は見られません。最も多い時間帯は明け方の4時から6時で157人(9%)となっています。また、一番少ない時間帯は20時から22時と22時から24時にかけての4.7%となっています。

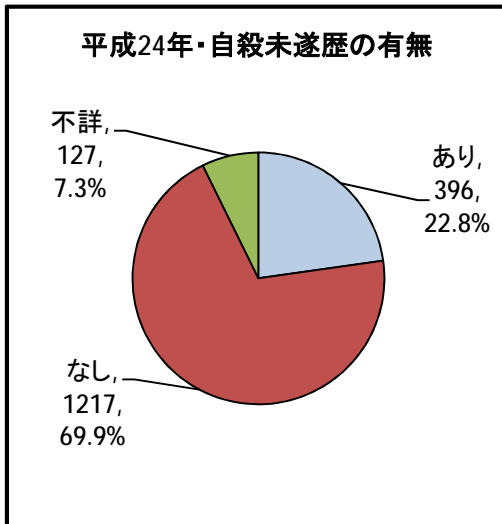


時間帯別男女別自殺者数に関しては、女性は時間帯別で見てもあまり数値に変化は見られないが、男性は明け方の「4時から6時」、次いで「6時から8時」にかけて数値が大きくなっています。逆に、「20時から22時」「22時から24時」にかけての時間帯の数値は男女共に少ない数値となっています。

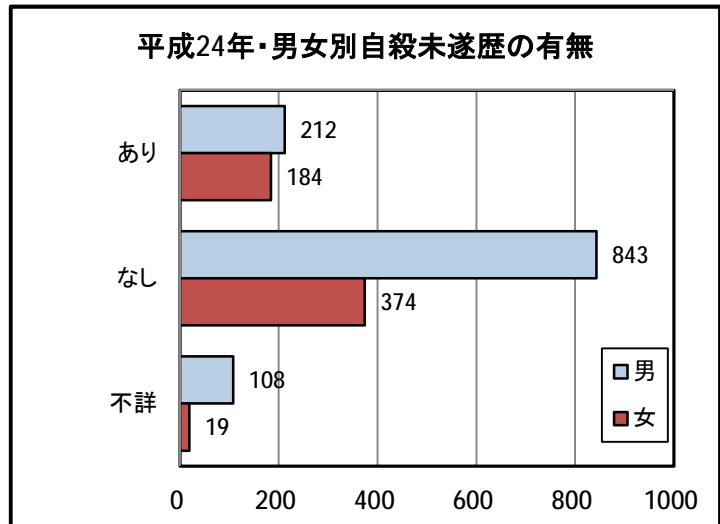


曜日別の自殺者数の割合は「月曜日」が275人(15.8%)と最も高く、次いで「木曜日」が260人(14.9%)となっています。一方、土曜日は202人(11.6%)と最も低く、次いで日曜日が224人(12.9%)となっています。曜日別による割合の大きな差は見られないが、土曜、日曜日よりも平日の方が若干割合が低くなっています。

曜日別男女別自殺者数では、女性の数値にそれほど割合の差は見られないが、男性は月曜日187人(16.0%)が最も多く、次いで木曜日180人(15.5%)となっています。



平成24年中における自殺未遂歴の有無では、「なし」1217人(69.9%)、「あり」396人(22.8%)となっており、「あり」の割合が「なし」の約3分の1となっています。



男女別でみた自殺未遂歴の有無では、「あり」の項目では男性が212人(18.2%)、女性が184人(31.9%)となっています。「なし」の項目では男性が843人(72.5%)、女性が374人(64.8%)となっています。男女別の「未遂歴あり」の割合を比較すると、女性の「未遂歴あり」の割合は男性の「未遂歴あり」の割合の約1.8倍となっています。